

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第1部門第2区分

【発行日】平成24年2月16日(2012.2.16)

【公開番号】特開2011-78845(P2011-78845A)

【公開日】平成23年4月21日(2011.4.21)

【年通号数】公開・登録公報2011-016

【出願番号】特願2011-12998(P2011-12998)

【国際特許分類】

A 6 3 F 7/02 (2006.01)

【F I】

A 6 3 F 7/02 3 2 0

【手続補正書】

【提出日】平成23年12月22日(2011.12.22)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

複数種類の識別情報を所定順で可変表示を行うことが可能な可変表示装置を含み、前記可変表示装置の表示結果があらかじめ定められた特定表示態様となったことを条件に遊技者にとって有利な特定遊技状態に制御可能となる遊技機であって、

遊技の進行を制御するとともに、遊技の進行に応じて少なくとも識別情報の可変表示時間を作成する可変表示制御信号を送信する遊技制御手段と、

前記遊技制御手段から送信される可変表示制御信号ごとに特定される識別情報の可変表示時間にもとづいて前記可変表示装置を制御して、識別情報を可変表示させることができ表示制御手段とを備え、

前記遊技制御手段は、

電力供給が停止したときに、バックアップフラグをバックアップ記憶手段に設定する処理と、前記バックアップ記憶手段の記憶内容が正常か否かの判定に用いるチェックデータを作成して前記バックアップ記憶手段に記憶させる処理とを含む電源断時処理を実行し、

電力供給が開始されたときに、前記バックアップ記憶手段に前記バックアップフラグが記憶されていたことを条件に、前記バックアップ記憶手段に記憶されているチェックデータが正常か否か判定することによって前記バックアップ記憶手段の記憶内容が正常か否かを判定する処理を実行し、前記バックアップ記憶手段の記憶内容が正常であったときに制御状態を電源断時の状態に戻すための復旧処理を実行し、前記バックアップ記憶手段に前記バックアップフラグが記憶されていないときには、前記チェックデータにもとづいて前記バックアップ記憶手段の記憶内容が正常か否かを判定する処理を実行せずに前記バックアップ記憶手段の記憶内容を初期化する初期化処理を実行し、

前記表示制御手段は、一の可変表示制御信号の受信に応じて識別情報を可変表示させる場合に、あらかじめ定められた特定時点にて、表示される識別情報を前記所定順に従うことなく何れか他の識別情報に差替える表示制御を行う

ことを特徴とする遊技機。

【手続補正2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 0 9

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0009】

本発明による遊技機は、複数種類の識別情報を所定順で可変表示を行うことが可能な可変表示装置を含み、可変表示装置の表示結果があらかじめ定められた特定表示態様となつたことを条件に遊技者にとって有利な特定遊技状態に制御可能となる遊技機であって、遊技の進行を制御するとともに、遊技の進行に応じて少なくとも識別情報の可変表示時間を指定する可変表示制御信号を送信する遊技制御手段と、遊技制御手段から送信される可変表示制御信号ごとに特定される識別情報の可変表示時間にもとづいて可変表示装置を制御して、識別情報を可変表示させることができ表示制御手段とを備え、遊技制御手段が、電力供給が停止したときに、バックアップフラグをバックアップ記憶手段に設定する処理と、バックアップ記憶手段の記憶内容が正常か否かの判定に用いるチェックデータを作成してバックアップ記憶手段に記憶させる処理とを含む電源断時処理を実行し、電力供給が開始されたときに、バックアップ記憶手段にバックアップフラグが記憶されていたことを条件に、バックアップ記憶手段に記憶されているチェックデータが正常か否か判定することによってバックアップ記憶手段の記憶内容が正常か否かを判定する処理を実行し、バックアップ記憶手段の記憶内容が正常であったときに制御状態を電源断時の状態に戻すための復旧処理を実行し、バックアップ記憶手段にバックアップフラグが記憶されていないときには、チェックデータにもとづいてバックアップ記憶手段の記憶内容が正常か否かを判定する処理を実行せずにバックアップ記憶手段の記憶内容を初期化する初期化処理を実行し、表示制御手段が、一の可変表示制御信号の受信に応じて識別情報を可変表示させる場合に、あらかじめ定められた特定時点にて、表示される識別情報を所定順に従うことなく何れか他の識別情報に差替える表示制御を行うことを特徴とするものである。

そのような構成により、表示制御手段が、一の可変表示制御信号の受信に応じて識別情報を可変表示させる場合に、あらかじめ定められた特定時点にて、表示される識別情報を所定順に従うことなく何れか他の識別情報に差替える表示制御を行うことを特徴とするので、特定期間内の移行数が異なる演出を同じ可変表示制御信号にもとづいて実行することができるようになる。従って、可変表示制御信号の数を減らすことができる。